

## ⑫ 家族経営の茶園にカフェ開設で広がった活動の場 【西村農園（袋井市）】

### ■活用した事業

「令和2年度 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（中小企業庁）」を活用して「ほうじ和紅茶」商品化のための遠赤外線火入れ機を導入

### ■経営の概況

生産から製造・販売を家族経営で行っている。栽培面積は7ha。栽培品種は「やぶきた」、「つゆひかり」等の5品種。乗用茶刈り機が入らない傾斜地の園地は、茶からレモンに改植した。

茶葉は自園の工場で「荒茶」に加工し、主に地元JAや斡旋業者に販売する他、自ら開設したネットショップで「緑茶」「和紅茶」等を販売している。また、併設のカフェでは茶飲料の提供や茶葉の販売以外にワークショップを開催している。

### ■取組内容

#### ・茶園経営

100年以上続く茶園を父から引継ぎ、最近は息子と二人で管理をしている。日々、茶樹や茶葉の状態で栽培方法や製造方法を変える等、きめ細やかな管理をすることで品質を守っている。

また、かつて当園が作っていた輸出用向け紅茶を一念発起し、復刻版「復刻袋井紅茶Papa・Tea」として再現した。この「やぶきた」を原料とした和紅茶は「ふじのくに山のお茶100選」に選出されている。

#### ・茶農家カフェ

カフェはキッチンと接客スペースで構成。接客スペースには大きなテーブルが置かれ、農園自慢の「和紅茶」や「ほうじ茶」等を提供。地元サッカーチームのホームゲーム開催日にはSNSで広がった人気メニュー「勝ちTea」を販売。今後は、お茶に関連したワークショップも開催し、人々の集まる場所としていきたい。



代々受け継がれてきた茶園



カフェ内部



復刻袋井紅茶  
Papa・Tea



ワークショップ  
（紅茶づくり）